

目指す主体的な学習者の姿

次年度の姿

3 学 期	3月	自らの学習状況を把握し、ゴールを意識して課題解決のための学習方法を選択できる生徒を育成することにより、標準学力調査において第1回より第2回の目標値差平均を全学年上昇させる。				
	Plan		Do			
		重点事項	具体的な内容	実施内容	達成率(%)	改善策
		生徒による学習の振り返りと対策	年間の単元成績表から自分の課題を見つけ、次年度に向けて学習調整できるよう、教科担任から指導する。			
		本校の学習課題の洗い出しと対策	標準学力調査結果等による学力向上施策の効果検証、アセスと学力の関連の確認を行い、次年度の学力向上対策を計画する。			
2 学 期	12月	第2回標準学力調査				
		①単元評価と保護者連携	授業課題の保護者公開や三者面談資料の工夫で連携を強化する。			
		②主体的家庭学習の推進	授業の協同学習と関連付けた家庭学習（予習課題）を実践する。秋のMY勉コンクールを設定し、習慣づけの強化を図る。			
		③読書習慣の定着	授業での図書室の活用、生徒委員会による広報活動を強化する。			
		④個別最適な授業の実践	UDLの視点、ICT活用、自由進度学習の視点での授業実践			
	8月	児童・生徒へのフィードバック				
1 学 期		①単元評価と保護者連携	単元評価をもとに教科担任が学習調整するよう助言し、学級担任は二者面談で学習目標・方法の確認、三者面談で保護者連携を図る。			
		②主体的家庭学習の推進	スマイルドリルの効果的使用方法を定着させる。家庭学習強調週間・MY勉コンクールを設定し、家庭学習の効果的なやり方、計画づくり等を指導する。			
		③読書習慣の定着	全校朝読書時間を設定し、読書習慣を身に付けさせる。			
	4月	第1回標準学力調査				